

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 128	提案機関名 財団法人相模湾水産振興事業団
<b>要望問題名</b> 蓄養型定置網開発研究について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 相模湾の漁獲物の約7割を占め、相模湾漁業の基幹漁業となっている定置網漁業は、近年、魚価の下落により、経営が圧迫されている。 ○ そのため、魚価安定対策として、漁獲物を市場へ安定的に供給したり、市場の価格動向を見て出荷したり、又、魚の品質を管理する等の目的から蓄養出荷が求められている。なお、現在、販路拡大のため、小規模であるが、江ノ島から小田原にかけて、イシダイ、ヌタウナギの蓄養出荷が行われている状況である。 ○ このようなことから、地域の拠点漁業となっている「小田原漁港」では、本格的な蓄養水面の建設が進んでおり、平成23年からは、蓄養試験の実施が予定されている。 ○ そこで、この蓄養水面を有効活用した「蓄養型定置網」の技術（小割生簀活用等）開発研究の実施を要望します。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 <b>③4～5年以内</b> ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター ②畜産技術センター <b>③水産技術センター</b> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	相模湾試験場
<b>対応区分</b>	①実施 <b>②実施中</b> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 沿岸漁業開発試験、定置漁業活性化支援研究			
<b>対応の内容等</b> 現在、沿岸漁業開発試験において蓄養水面で計画されている蓄養・出荷事業を技術面で支援することを目的に蓄養水面での使用に適した蓄養生簀の開発に取り組むとともに、小田原市漁協が行なう漁獲物の蓄養、出荷等の試験の実施を支援しています。 また、定置漁業活性化支援研究では、猪口網を対象に生簀活用型定置網の研究を行っています。この知見を基礎として、更に、県下で広く用いられている落網を対象に鮮魚ストック出荷型定置網の開発を実施していきます。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 <b>③4～5年以内</b> ④5～10年以内		
<b>備考</b>			